

**卓月賞**

**買える馬、買えない馬。**

## 著作権について

本冊子の著作権はウマナリにあります。本冊子の全部または一部をあらゆるデータ蓄積手段により、複製および転載することを禁じます。

## 免責事項

本冊子は情報提供を目的としており、いかなる損害が発生しましても当方では一切の責任を負いません。

## 代理登録

当無料レポートのダウンロードをもって、メールマガジン【競馬情報、人生もうまなりで。】に代理登録されます。解除はメルマガ内にあるアドレスからして頂けます。

この度は無料レポートをダウンロードしていただき、ありがとうございます。

今週末に皐月賞が開催されます。

過去のレース結果を分析することにより、買える馬券と買えない馬券の大まかな傾向が見えてきます。

今回、過去10年間のレース結果を分析いたしましたので、皆様の馬券検討の一助になれば幸いです。

それでは、さっそく見ていきましょう。

まずは、過去10年のレース結果、および配当金です。

大まかにザッと見ていただければ結構です。





以上が過去10年のレース結果になります。

このレース結果を色々な角度から分析していきます。

## 配当

配当金別出現回数（過去10年）

	単勝	枠連	馬連	馬単	三連複	三連単
100~500	2	2				
500~1000	4	4	2			
1000~2000	3	2	3	4	1	
2000~3000		1			1	
3000~5000	1		2	1	1	
5000~10000		1			2	1
10000~20000			2	2	2	2
20000~30000				2	1	
30000~			1	1	2	7

①人気馬は2勝2着2回3着1回、平均よりやや良いといった感じですが。

②人気馬はこの10年、昨年しか勝っておらず、1勝2着3回3着2回となっています。

波乱の原因はなんといっても、2桁人気馬の激走です。07年にも2着に入ってから大波乱になったように、3着までの30頭のうち⑩人気以下が5頭も入っているためです。

# 傾向

3着までには弥生賞組が1 2頭、1着3頭2着4頭3着5頭と中心を形成しています。

しかし、スプリングS組が7連対で1着ではこちらの方が上で、次いで若葉S組が6頭馬券になっています。

波乱を演出しているのはスプリングS組と若葉S組の人気薄馬です。

それぞれのレースでは4着以内馬がほとんどで、狙い目は4着以内で人気落ちの馬になります。

それでは次からは具体的にどのように馬券を買うのが狙い目かデータで示していきたいと思います。



攻略ポイント

買える馬！

その1

弥生賞組馬！！

過去10年において2勝2着4回3着4回で最も馬券に絡んでいます。

リオンディーズ、マカヒキは押さえておいてください。

では次にデータより狙いづらい馬券も挙げていきたいとおもいます。

# 買えない馬！

## その1

### 重賞、オープン未連対馬！

重賞・オープンのレース数が増えて、重賞、オープンの連対が無い馬が出走することが少ないですが、連対したのは、ノーリーズンとダイワメジャーの2頭のみとなっています。

トライアル3着で出走権を得た馬であっても、**重賞、オープンでの連対は必要条件**といえます。

## まとめ

①、②人気馬とも複勝率はそれぞれ7割、6割あり、①人気か②人気とも馬券には絡めておいた方が良くも知れません。

相手はまず人気でも弥生賞、スプリングS好走馬を押さえるべきだと考えます。

穴は前走のレースで、重賞やオープン特別で4着以内と好走しながら、人気を落としている馬に注意が必要です。

京成杯、若葉S組馬の激走もあり、これが穴馬券をもたらしている様です。

最後までお読みいただきありがとうございました。

皆様の馬券的中をお祈りいたします。

by ウマナリ